

新しい学びのカタチ

「放課後塾ハル」の取り組み



放課後塾ハル 小学部

まずは、学ぶ楽しさを実感する

個別学習タイム

30分間集中して自主学習を行います。多くの子どもたちが宿題をしています。講師が分からないところをアドバイスしたり、友人と教えあって課題に取り組んでいます。



計算コンテスト

百マス計算を毎回実施し、3分30秒以内の全問回答を目標にします。スピードと正確性を養い、ゲーム感覚で「計算力」が向上します。

学ぶことに興味を持って

この日は、5年生と6年生の塾生11人が出席。30分間の個別学習では、全員が一言も話さず、集中して自主学習に取り組む姿が見られました。

続いてのテーマ授業では「生物多様性」を取り上げました。まずは、さまざまな生物の種類ごとにグループ分けし、「植物」を中心に学習が進みます。植物の構造、世界の面白い植物や危険な植物が紹介されると、子どもたちは興味を持った様子で、講師の説明に目を輝かせて聞き入っていました。



“国見型” 学びのカタチ

国見町公営塾「放課後塾ハル」をご存じですか？

放課後塾ハルは「地域と子どもの未来を見晴らす」をコンセプトに掲げ、昨年6月からスタートした国見町が運営する公営塾です。町内在住の小学5年生から中学3年生を対象に、「学習サポート」「テーマ授業」「ハルプロジェクト」の3つを軸とした取り組みを実施。学校の宿題が中心の個別学習から、高校受験を目標にした集団授業など、多種多様な学習サポートを行っています。

スタッフや講師は地域おこし協力隊のメンバーを中心に、子どもたちが意欲的に学習できる環境づくりを目指しています。

子どもたちが自身の可能性を広げ、これからの社会を生き抜くスキルを身に付けるための挑戦をすることができるよう、たくさんの願いが込められたこの場所で、頑張る子どもたちの様子を紹介します。

ハル小学部 塾生の声

もっとたくさんのことを知りたい——

先に通っていた友達から「楽しいから一緒に行こう」と誘われてハルに通うようになりました。先生たちが分かりやすく教えてくれるし、テーマ授業がクイズ形式なので、楽しく授業を受けることができます。

いろいろなテーマ授業があるので、それぞれの授業をしっかりと学習して、もっと知識を深めたいと思います。



国見小学校6年 富野 心葉 さん